



海底の遺跡 神々の世界は海の中にあった。

赤く染められた日御崎神社には、もう一つの出雲神話が伝えられています。神代のこと、スサノオノミコトは今の日御崎神社うらての隠ヶ丘に鎮座されていました。今では海中に沈んでしまいサドガセ・ボングイという「瀬」になっていますが、そこで日御崎神社の神事が行われていたということです。その後、安寧天皇の時代になって、スサノオノミコトは姉のアマテラスオオミカミに経島に降臨してもらい、ご自分は日御崎神社におはいりになりました。経島はその時以来、日御崎の海に沈む夕日の神事がおこなわれる聖なる島になったのです。経島周辺の海底には、タイワと呼ばれる「瀬」があり、そこで夕日の神事が行われていたと言う説もあり近づくと神々の歌声が聞こえてきます。



hinomisaki[®]

島根県出雲市大社町日御崎 450
D.S.AQUA 工房

「亀石」

日御崎の海には、日御崎神社の知られざる歴史がいっぱい眠っています。これを活用して、地域を元気にしようと「マリンブルー」を立ち上げました。そのキャラクターが「亀石」です、亀石をキャラクターにしようと考えたときにヒントをくれたのが、加茂岩倉遺跡から出土した銅鐸に彫っていた「ウミガメ」です。古代の人を見て銅鐸に彫った「ウミガメ」、海底に眠る亀石、これからも何か我々にいろいろ語ってくれそうです！日御崎の海にはまだ、北前船の歴史や日御崎灯台の歴史がいっぱい眠っています。

